

整理番号 101-0247

発送番号 325476 1/

発送日 平成18年 8月 1日

特許出願の理由通知書

18.9.30



特許出願の番号	特願2002-306177
起案日	平成18年 7月24日
特許庁審査官	増岡 亘 9143 3J00
特許出願人代理人	篠島 富二雄 様 A50351-USA
適用条文	第29条第2項 P101-0247

新田

A50351-USA

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。



理由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1 ~ 3

- ・引用文献等 1 ~ 4

- ・備考

引用文献1には、副変速機の切換が開始された後、該副変速機の切換が完了したときに、主変速機の切換を開始することが記載されており、

引用文献2には、副変速機の切換が開始された後、切換開始から所定時間経過しても当該副変速機の切換が完了しないときに、主変速機の切換を開始することが記載されている。

また、停車中に副変速機の切換を行うことは、引用文献3、4に記載されている。

したがって、本願の請求項1~3に係る発明の構成は、引用文献1~4に記載された発明に基づいて、当業者が容易に想到し得たものと認められる。

なお、副変速機の切換開始から所定時間経過したときに、主変速機の切換を開始することは、実願平4-59181号(実開平6-22658号)のCD-R OMに、

副変速機の切換が完了しないときに、主変速機の切換を開始することは、特開